

## シリーズ 社会福祉法人の力を地域に

### ～社会福祉法人の地域における公益的な取組を紹介～

社会福祉法が改正され、すべての社会福祉法人は、「地域における公益的な取組」を行うことが責務として規定されました。社会福祉法人の公益性・非営利性など、その本旨に従い、他の事業主体では困難な福祉ニーズへの対応が求められています。

「移動スーパーで地域の課題解決とコミュニティづくり～地域の transformer として～」

社会福祉法人 佛子園

#### 取り組みの概要

社会福祉法人佛子園が運営する日本海倶楽部では、障害がある人の就労支援を行っています。施設がある能登町の高齢化率は約 50%、かつ土地も広大で、歳を重ねた地域住民からは、移動販売を望む声が多くありました。

そんなとき、内閣府の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の助成が決定し、トラック等を整備し、職員でプロジェクトチームを立上げ、移動販売を開始しました。



移動販売車  
施設で作ったお惣菜やお弁当が一人暮らしのお年寄りに人気です

#### 「transformer」が持つ意味

移動販売事業は、「日本海倶楽部 The Transformer」と名付けました。Transformer は、変化させる人・ものという意味があります。地域の方々を見てみると、食品や日用品等を入手したいというニーズだけでなく、仲間と集い話したいという思いもあるようです。あるときは移動スーパー、あるときはコミュニティづくりの場、あるときは…、地域の課題によって、その時々で状態をかえ、課題を解決し、前に進んでいくことをイメージしています。



買い物後には、自然とコミュニティができます 「何買った?」「最近どうしてた?」と会話がはずみます

加えて、法人・施設として、新たな地域課題にチャレンジすることで、施設利用者も職員も地域も変わることができる、その可能性があることを意識できるネーミングであると思っています。

#### これからの取り組みについて

この事業は、公益的な取組として、地域課題の解決につながっただけでなく、コロナ禍での施設利用者の工賃の維持や、社会参加の機会提供等の成果もありました。まさに、地域課題やコロナの課題を障害者の就労につなげて解決していくという、今後の新たな指標となり得る経験であったと感じています。

また、移動販売をとおして、予想以上に地域が活性化され、それを見て施設職員も元気になり、施設利用者もやりがいを感じるという相乗効果がみられました。地域から我々の強みを教えてもらい、地域の中の社会福祉法人であることを再確認する機会にもなっています。



竹中施設長「これからも施設利用者のため、地域のためにチャレンジを続けます」

【問い合わせ】(社福) 佛子園 日本海倶楽部 TEL0768-72-8180

◇◇◇地域における公益的な取組をシリーズで発信していきます。情報をお寄せください。◇◇◇